

Davide Guzzetti 博士 講演会報告

第6 パンルヴェ方程式の局所漸近解析



目で見
海外講師講演会

大 山 陽 介*

Local Asymptotics on the sixth Painlevé equation

Key Words : The Painlevé equation, Asymptotic analysis

<講演会名>古典解析研究会 "Schlesinger : 100"

<開催場所>大阪大学豊中キャンパス理学部

E416 号室

<開催時期>平成 24 年 11 月 16 日 (金)

今から 110 年ほど前に発見されたパンルヴェ方程式は、「動く分岐点を持たない」2階の非線型微分方程式で既知の函数では解けない6種の微分方程式である。その中で第6方程式は、最も複雑な方程式であり、解の構造を決定することは長年の課題であった。

大阪大学「古典解析セミナー」は国内におけるパンルヴェ解析の研究拠点の一つである。モノドロミ保存変形の一般論を構成した L.Schlesinger の論文から 100 周年でもあり、「Schlesinger:100」と記念した集会を持った。本講演では、第6パンルヴェ方程式の特異点の周りでの挙動の完全な分類とともに、解のもつ極が複素平面上に螺旋状に分布するという、きわめて興味深い結果について詳しく解説していた。

なお、本講演の前に平成 24 年宮原国際研究活動助成を受けた森田健君（情報・博士2年）が助成活動報告も兼ねて q- 差分方程式の大域問題について講演を行った。



講演風景



参加者（中央が Guzzetti 氏）



Davide Guzzetti 博士

1970 年 8 月イタリア生

ミラノ大学卒業後にトリエステ・高等研究所で Ph.D. 2001 年から日本学術振興会研究員として京大数理研に滞在。その後、韓国 KIAS 研究員をへて、現在はトリエステ・高等研究所で研究員。

勤務先 International School for Advanced Studies SISSA 部課名 Mathematical Physics Sector

職名 Research Professor 学位 Ph.D 専門 数理解物理学・漸近解析

E-mail : guzzetti@sissa.it

*講演会主催者 大阪大学大学院 情報科学研究科 情報基礎数学専攻 准教授